

風しんの第5期定期予防接種を受けられる方へ

風しんの第5期の定期予防接種の対象と判定された方は、安全に予防接種が受けられるよう、予防接種の効果や副反応について十分理解していただき、接種することに同意した上で接種を受けてください。接種を受ける際には、下記の注意点を必ずお読みになり、体調の良いときに接種を受けてください。

1. 予防接種を受けることのできない方

- 1) 明らかに発熱がある方（通常は37.5℃を超える場合）
- 2) 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな方
- 3) 麻しん風しん混合ワクチンの成分によってアナフィラキシー※を呈したことが明らかな方
- 4) その他、医師が不適当な状態と判断した場合

【注意】 急性の病気で薬を飲む必要がある場合は、その後の病気の变化が分からなくなる可能性もありますので、その日は見合わせる事が原則です。

※アナフィラキシーとは

通常接種後約30分以内に起こるひどいアレルギー反応のことです。発汗、顔が急に晴れる、全身にひどいじんましんが出る、吐き気、嘔吐（おうと）、声が出にくい、息が苦しいなどの症状に続き、血圧が下がっていく激しい全身反応です。

2. 予防接種を受ける前に、医師とよく相談しなくてはならない方

- 1) 心臓病・腎臓病・肝臓病や血液、その他慢性の病気で治療を受けている方
- 2) 予防接種で接種後2日以内に発熱がみられた方や全身性発疹等のアレルギーを疑う症状があった方
- 3) けいれん（ひきつけ）の既往のある方
- 4) 今までに免疫不全の診断をされた方、近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- 5) 麻しん風しん混合ワクチンの成分によってアレルギーを呈するおそれのある方
- 6) 免疫抑制剤の投与を受けている方、特に長期あるいは大量投与を受けている方

3. 予防接種を受けた後の一般的な注意事項

- 1) 接種後に重いアレルギー症状が起こることがあるので、少なくとも接種後30分は帰宅せず、安静に健康状態を観察しましょう。
- 2) 接種当日の入浴は差し支えありません。ただし、接種部位をこすらないでください。（接種当日の激しい運動や大量の飲酒は避けましょう）

4. 副反応が起こった場合

予防接種の後、まれに副反応が起こることがあります。また、予防接種と同時期に他の感染症が偶然重なって発症することもあります。予防接種によって引き起こされた副反応により、医療機関での治療や生活に支障が出るような健康被害を生じ、定期予防接種によるものと認定された場合、予防接種法に基づく健康被害給付（予防接種健康被害救済制度）の対象となります。

※予防接種を受けた後、接種した部位が痛みや熱をもってひどく腫れる、全身のじんましん、繰り返す嘔吐、顔色の悪さ、低血圧、高熱などの症状が現れた場合は、医師（医療機関）の診察をお受けいただき、後日、保健センターへご連絡ください。